



バスケットボール No.4

令和8年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技

試合日	2026年8月2日(日)	福岡大学附属大濠高等学校	85	62	北陵高等学校
開始時刻	11:50				
会場	Asueアリーナ大阪				

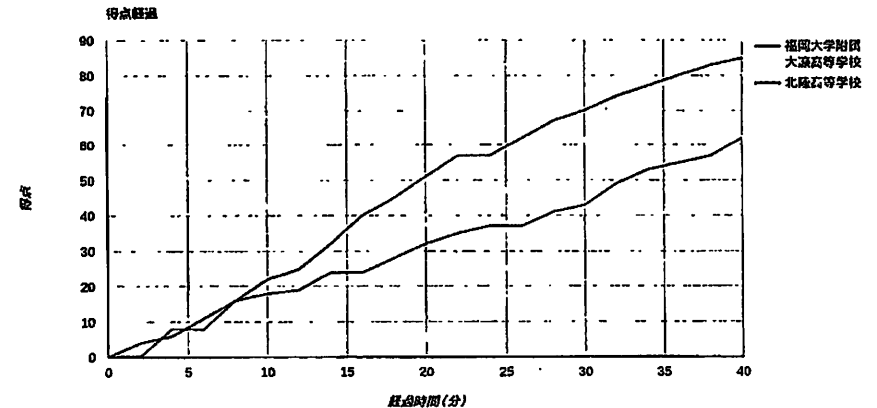
福岡大学附属大濠高等学校

No.	選手名	GS	PTS	3P			2P			DK	FT			RBD			AST	STL	BLK	TO	PF	TF	FO	DQ	MIN
				M	A	%	M	A	%		M	A	%	OR	DR	TOT									
4	永島 元希		7	1	1	100	1	1	100	0	2	3	67	0	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	14:45
5	田中 颯斗		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4:03
6	中村 文也	*	15	2	5	40	3	5	60	0	3	3	100	1	2	3	1	1	0	1	2	0	0	0	25:48
8	山元 輝康		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	0	0	0	2	0	0	0	6:20
9	廣田 真	*	4	0	0	0	2	5	40	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	0	0	23:37
10	平島 礼雄		7	1	1	100	1	4	25	0	2	2	100	1	4	5	2	3	0	2	1	0	0	0	20:05
11	堀井 門大	*	7	0	1	0	2	3	67	0	3	5	60	1	3	4	4	2	0	3	2	0	0	0	25:23
12	有田 啓生		3	1	5	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	5:12
14	本田 健以	*	15	3	7	43	2	8	25	0	2	4	50	1	1	2	2	0	1	1	0	0	0	0	27:47
15	ブクシュ 健太郎		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	1	1	0	3	0	0	0	10:03
16	品本 賢貴也		3	1	3	33	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3	0	0	0	14:28
23	白砂 結成リョウ	*	24	4	5	80	4	12	33	0	4	7	57	2	8	10	0	0	0	1	3	0	0	0	22:29
Team/Coaches			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	DNP
TOTALS			85	13	28	46	15	41	37	0	16	24	67	9	24	33	11	11	2	10	17	0	0	0	200:00

北陵高等学校

No.	選手名	GS	PTS	3P			2P			DK	FT			RBD			AST	STL	BLK	TO	PF	TF	FO	DQ	MIN
				M	A	%	M	A	%		M	A	%	OR	DR	TOT									
1	宮門 和樹	*	10	2	6	33	2	5	40	0	0	0	0	1	3	4	3	1	1	1	1	0	0	0	27:58
2	小林 大晃		4	0	1	0	2	4	50	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3	1	0	0	0	11:14
3	大塚 一哉		5	1	3	33	0	2	0	0	2	2	100	0	1	1	0	1	0	2	2	0	0	0	18:27
5	廣嶋 仁真		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0:56
8	高島 翔樹	*	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	2	0	0	0	15:16
00	カベツブレ ジョナサン	*	6	0	0	0	3	23	23	0	2	5	40	3	3	6	0	0	0	4	1	0	0	0	21:04
17	結川 颯斗	*	6	1	3	33	1	2	50	0	1	2	50	1	0	1	0	2	0	1	1	0	0	0	20:19
25	ファイビン ジョナサン		12	0	0	0	9	12	42	1	2	2	100	5	8	13	0	0	1	2	3	0	0	0	18:50
30	高田 昶秋		5	0	3	0	2	2	100	0	1	1	100	1	1	2	0	0	0	1	2	0	0	0	19:40
36	岡田 大雄		5	1	6	17	1	3	33	0	0	0	0	3	2	5	1	1	0	0	1	0	0	0	23:31
75	鈴木 大志郎		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1:12
88	須藤 祐海	*	7	1	2	50	2	4	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	23:23
Team/Coaches			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	DNP
TOTALS			62	6	25	24	18	50	36	1	9	12	67	15	19	34	4	5	2	14	16	0	0	0	200:00

No. 背番号 PTS 得点 AVO 1試合平均得点 MU 得点差 A 試合数 % 成功率 2P 2ポイントシュート 3P 3ポイントシュート DK ダブル FT フリースロー RBD リバウンド OR オフenseリバウンド DR ディフェンスリバウンド TOT 合計 AST アシスト STL スティール BLK1ブロックシュート TO テンオーバー PF パーソナルファウル クリアパス・ファウル、アウェイ・フール、レイ・ファウル、フール・ファウル、バウンディングファウルの合計 TF テクニカル・ファウル FO フォール・オン・DQ 退場回数 MIN 試合出場時間



戦評

今大会優勝候補筆頭の福大大濠と、ノーシードから豊富な運動量と全員バスケットを武器に勝ち上がってきた北陵による伝統校同士の決勝戦。福大大濠が序盤から主導権を握り、粘る北陵を振り切って勝利。2017年度以来となるインターハイ優勝を果たした。

第1Q、両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。福大大濠は堅いディフェンスから速攻につなげて得点を重ねる。対する北陵はドライブインを果敢にペイントアタックし応戦。両チームとも積極的にメンバーを入れ替えながら一進一退の攻防を繰り返す。北陵は徐々にディフェンスの強度を高めて福大大濠のミスを防ぐが、福大大濠も1-2-2のオールコートゾーンディフェンスに切り替え、相手に流れを渡さない。22分18秒と福大大濠が4点をリードして第1Qを終えた。

第2Q、開始早々に福大大濠#23が1対1を決めると、続けて#14が3Pを沈め、一気に流れを引き寄せる。北陵は#26の豪快なダンクシュート、#1の3Pで応戦するものの、福大大濠のオールコートディフェンスに苦しみ、思うように得点を伸ばせない。福大大濠は#23の連続得点でリードを15点に広げる。北陵はタイムアウトで立て直しを図り、その後は互いに得点を重ねる展開となるが、高さや選手層で勝る福大大濠が試合を優位に進め、前半を終えた。

第3Q、福大大濠は#23、#14が立て続けに3Pを決め、さらにリードを広げる。反撃したい北陵は積極的リングヘ向かうが、福大大濠の堅いディフェンスの前に得点機会を作れない。それでも北陵は#00の1対1で加減し合い下がる。しかし福大大濠はメンバーを入れ替えても攻守の強度が落ちず、全員バスケットで密着し得点を重ね、大きくリードして第3Qを終えた。

第4Q、後がない北陵は#3、#88の連続3Pで反撃を開始。ディフェンスの強度をさらに高めて追い上げを図るが、ファウルが量なり、福大大濠にフリースローを与えてしまう。福大大濠は#10のドライブインからノーマークの3Pを演出するなど落ち着いたオフェンスを展開。北陵も最後までルーズボールに飛び込むなど粘り強く戦ったが、終始主導権を握った福大大濠が北陵を振り切り、優勝を果たした。

文責:大阪高体連技術委員会

主審	久米 亮弥	副審	飯尾 勝紀
副審	北村 仁	副審	
スコアラー		サブスコア担当者	